

京都巡回展について

東京都美術館改修の影響で長らく実施を見合わせていた巡回展が、再び実施できる運びとなりました。開催準備は本展会期中から、事務局始め小宮山実行委員長及び関係委員で着々と進められてきました。多くの会員や仲間を誘って京都に集い親交を深めましょう。

会期 平成二十五年三月二十七日(水)～三月三十一日(日)

会場 京都府京都文化博物館五階展示室
京都市中京区三条高倉(075-222-1771)

作品 第三十六回新日美展から百点を選抜し展示する。選抜要領は審査員作品、受賞者作品、関西方面出品者を優先的に選抜し作家の承諾を得て決定した。出品料五千円。

作品の搬出 選抜された作品は巡回展終了後約二週間搬出できません。(四月中旬予定)

連絡先 事務局：森屋(04-7191-6760)

本部担当：小宮山(04-7191-8034)

京都支部担当：飯村(0774-62-5059)

懇親会 (展示作業終了後に開催するので作品鑑賞は翌日から可能となります。)

日時 三月二十六日(火)四時三十分より

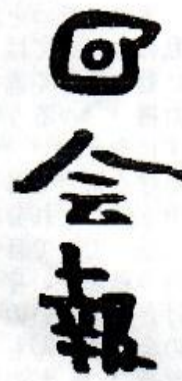
会場 がん(お屋敷・高瀬川二条苑)

電話 075-223-3456 京都市中京区木屋

町二条下ル東生洲町四八四一六

会費 五千円

申し込み 三月十日までに事務局森屋まで



新日本美術協会

事務局
千葉県柏市大津ヶ丘
3-17-17-401
森屋治三方
TEL04-7191-6760

編集委員
本部 小高峯夫
富岡ネム
大石 亨
京都 四方公子
広島 藤原清二

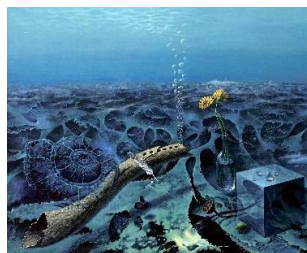
次号平成25年5月予定

36回展最高賞作品

作品講評 中野 中先生



東京都知事賞
井上貴絵 長野
日本画 F100
「雪降る音」



文部科学大臣賞
土屋政夫 東京
油彩画 F100
「水底のオブジェ」

静かに、深々とした思いを抱かせる。水底はアンモナイトが象徴するように永い時を経て荒蕪地のように荒れ果て、廃棄物が散乱する。そんな中にも光は生まれ花は咲く、シチュールで幻想的な景観にリアリティを感じさせる。静謐の中で動いているのはただ水泡のみ。確かなイメージと卓抜な描写力。

降る雪が水辺も枯木も白く染め上げている。静かに静かに刻は止まったように佇む。水平線を高めた構成と、けむりような林と水面、枯木とその影の構成と対比が巧みななされ、自然観照の深さが思われる。音もなく降る雪に音を感じるの、作者の鋭く豊かな感性があり、自然に寄せるアンティームな思いであらう。

36回展一般応募 入賞作品



特選
福間 基 島根
陶芸 51×7
「黄瀬戸釉花火紋大皿」



新人賞
黒田美枝子 東京
陶芸 37×19×18 「暁闇」



新人賞
保泉一紅 埼玉
油彩画 P120 「金昌寺」



新人賞
浜田洋子 東京
日本画 F30 「月の香り」



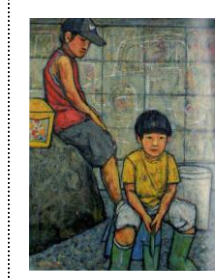
マルオカ工業賞
片桐金治郎 千葉
油彩画 変 100
「怒り」



松田油絵具賞
小松輝雄 千葉
日本画 F50
「栢」



佳作
松浦三枝子 広島
水墨画 F30
「雪化粧」



佳作
松浦敏世 栃木
油彩画 F80
「らくがき」



佳作
西丸正恵 東京
陶芸 71.5×34
「不協和音程」